

## 幼児教育・保育の質の向上に向けた「公開実践」の実施について

### 1 目的

本市の公立・私立、幼稚園・保育園等の全ての園において、乳幼児がより質の高い幼児教育・保育を受けることができるよう、幼児教育・保育について意見交流する機会を提供し、幼稚園・保育園等の相互理解を深めるとともに、実践における具体的な場面から、乳幼児期に適した環境構成や援助を捉えることを通して、幼稚園教諭・保育士等としての資質・能力の向上を図る。

### 2 実施に当たってのポイント

実施園・連携園、参加園が、そこで得た気づきや学びを自園の実践に役立てたいという意欲を高めることができるような取組にするため、以下の点に留意する。

#### (1) 保育の見学時

参加園は、日案や週案などの資料及び意見交流したい内容を踏まえて見学し、子どもの育ちや学び、保育者の援助や環境構成の工夫などについて、実際の保育場面を通して客観的に捉える。

#### (2) 意見交流時

- ・ 実施園・連携園は、子どもの興味や関心のある事項、子どもの心情や態度の変化、環境構成の様子などの保育展開の経過を参加園に説明した後、当日の子どもの姿と保育者の援助の工夫等についての振り返りを行うとともに、話しやすい雰囲気作りに努め、意見交流を活発なものにする。
- ・ 参加園は、子どもの遊びや行動、保育者の援助、環境構成等について、気づきなどを積極的に語るよう心掛ける。
- ・ 実施園・連携園、参加園は多様な意見に触れることを通じて、自園の保育の良さや課題について考えることを心掛ける。

### 3 アンケート調査について

公開実践の効果について分析し、翌年度以降の実施に生かすためのアンケート調査を実施する。

#### (1) 当日アンケート

公開実践が幼稚園・保育園等の相互理解や幼稚園教諭・保育士等の資質・能力の向上につながるものであったかや、参加者が学んだこと、自園で活用したいことなどについてアンケートを実施する。(資料3)

#### (2) 事後アンケート

公開実践を通じて得た気づきが各園の保育での活用につながったことや、公開実践後の交流状況の変化などについて、実施日から期間を開けて（1、2か月後）アンケートを実施する。(資料4)